

シミランクルーズとは	
世界中のダイバー憧れのツアー。もう一度潜りたい海No.1を継続中。	
催行時期	毎年10月中旬～5月中旬の国立公園が開園する、限られた期間での催行
お勧めの時期	1月中旬～4月中旬は海が穏やか
予約時期	半年前からがお勧め 3ヵ月前だと日本人ガイドやボートの空きが減っており、参加できる確立が低くなる
ポイント概要	シミラン諸島:ダイナミックな地形と鮮やかな珊瑚に生息する魚たち ボン島、タチャイ島:マンタやジンベエの遭遇率があがる。流れが強いことが多い リチュエーロック:世界屈指の漁礁ポイント。大型アジやバラクーダ、マクロまでどんな好みのダイバーも魅了する。

シミランクルーズ 2つの乗船スタイル
滞在日数の自由度で選ぶか、母船で過ごすゆとりで選ぶか。

比較項目	①スピードボートで母船へ:アレンジスタイル	② 港から母船に乗船:主流スタイル
選び方	日帰りから好きな泊数で組みたい方	4泊でゆったり、たっぷり潜りたい方
日程・ダイブ数	毎日催行／日帰り～何泊でも調整可能	<u>各船の固定スケジュール／4泊4日・14～15ダイブ</u>
リチュエーロック	日曜・火曜のみ(クーン9号)	行程に必ず含まれる(最大4ダイブ)
料金の目安	2名参加の場合 2泊3日10ダイブ:30,000B～:国立公園料1,600B～ 4泊5日18ダイブ:44,000B～:国立公園2,000B～	2名参加の場合 4泊4日15ダイブ:39,000B～:国立公園2,300B
料金の特徴	当日から潜れるので、本数が多い	クルーズ船・客室のグレードによって料金が異なる
選べる船会社	・ <u>クーン9号(毎日催行)お勧め</u>	・ <u>サワディファーサイ号 お勧め</u>
	・ <u>ゾンブン3・4号(催行不安定)</u>	・ <u>ダイブレース号 お勧め</u>
	・ <u>ラパット号(キャビンが狭くお勧めしない)</u>	・ <u>マンダリンクイーン8号(Iovanita) お勧め</u>
		・ <u>マンダリンクイーン9号(Iovanna) お勧め</u>
		・ <u>パワラ号</u>
		・ <u>ディープアングマングクイーン号</u>
ブーケット到着	前日までに到着し、ホテルに1泊(翌朝ホテルお迎え)	乗船当日の昼までに到着(夕方空港お迎え) 前日泊でもOK(夕方ホテルお迎え)
乗船日時	翌朝ホテルお迎え 港からスピードボート⇒シミラン停泊中の母船へ 当日からダイビング	夕方空港orホテルお迎え 港から母船で移動 翌朝からダイビング
ホテル⇄港の往復送迎	500B／名 島内全域	無料 島内全域
乗下船方法	港⇄スピードボート⇄母船	港⇄母船
乗下船港	カオラックエリア 土、日、月、火:ナムケム桟橋 水、木、金:タブラム桟橋	カオラックエリア タブラム桟橋
下船日時	夕方17時前後に港着 ホテル着は19時以降	14ダイブ:夕方16時前後に港着／18時以降にホテル着 15ダイブ:夕方18時前後に港着／20時以降にホテル着
キャビン	ツインベッドルーム／ダブルベッドルーム 部屋別料金:無し シャワー&トイレ付き 1名参加は同性相部屋	ツインベッドルーム／ダブルベッドルーム グレードによって部屋別料金:有り シャワー&トイレ付き 1名参加は同性相部屋
船内の雰囲気	広いダイニングエリア 毎日乗下船があり、やや賑やかでハイシーズンは混雑する	乗船後は顔ぶれが変わらず、ゆっつりのんびり ダイニングエリアからサルーンまで洗練された空間
レンタル器材	ナイトロックス:300B／本 フルレンタル器材:600B／日 ダイブコンピューター:300B／日	ナイトロックス:ボートによっては無料or300B／本 フルレンタル器材:600B／日 ダイブコンピューター:300B／日

どちらのプランも共通	
参加前条件	ファンダイバー向け(オープンウォーター以上／アドバンス以上推奨)
乗船前 下船後のホテルエリア	繁華街で遊びたいならノブエリア(通常時:港まで片道2時間半～3時間) ダイビングだけで良いなら空港エリア(通常時:港まで片道1時間半～2時間) カオラックエリアでも良いが空港までのタクシー代が片道3,000B前後なので、ボート会社の無料送迎を利用した方が良い。
乗船時の食事	三食付き、スナック、コーヒー、ソフトドリンク、飲料水 ビール別売り
帰国便	下船日の翌日12:00以降にプーケットを出発する便を推奨

参照サイト
シミランクルーズが初めてのの方に
全クルーズ年間スケジュール 一覧表
各クルーズ船の施設
タプラム桟橋位置情報
ナムケム桟橋位置情報